

## ハラール対応の「桃姫」シリーズをムスリム女性に ～在目ムスリム女性にスキンケアレッスンも～

PBJ

PBJは3月3日の桃の節句に合わせ、ハラール認証を取得したスキンケアシリーズ「桃姫」を発売した。同シリーズは、イスラム教で禁止されている豚由来成分やアルコール成分を排除した「ムスリムフレンドリー」処方となっており、洗顔フォーム、化粧水、保湿ジェルクリームの3品を展開している。

PBJは、1935年に創業した小林美枝子社長の実家・矢萩青果店が出発点だ。2010年に小林氏のもう1つの顔である会計士として会計コンサルティング事業を展開する会社を設立し、同社がインドネシアやシンガポールへの海外進出や進出後のコンサルティングなどを行っている関係で、インドネシアのジャカルタに連絡事務所を開設して、現地の人と交流を深めていった。現地で日常的にムスリムの女性と触れ合う中で、ムスリムの女性たちも「メイドインジャパン」の化粧品に憧れを抱いているものの、配合成分が戒律に触れ、さらに富裕層しか購入できないような高級品の扱いになってしまっているため日本の化粧品には手が届かないことがわかった。こうした現状を知った小林氏は、「ムスリムの女性でも使えるメイドインジャパンの化粧品をつくりたい」という思いで、2012年頃から化粧品の研究をはじめた。



「桃姫」

実家が青果店のため、夏になると母親が「体にいいから」と毎日のように食べさせていた桃の栄養価に可能性を見出した小林氏は、OEMに検査

を依頼。すると、桃には様々な美容機能があることがわかった。これに着目し、「桃姫」では保湿や整肌、エイジングケア機能の高い桃葉エキス、桃果汁、桃種子エキスといった桃をキー成分とし、桜の葉のエキスやシソの葉エキスといった日本を象徴する素材を配合している。ハラールの戒律で豚由来成分は使えないため、魚由来のコラーゲンを配合している。



小林美枝子氏

タイやインドネシアなど東南アジアを中心とした蒸し暑い地域のみでの販売を予定していたため、さっぱりとした使用感に仕上げた。

「ハラール認証は誰でも安心して使える印だと考えている。化粧品事業に関しては、ハラールと桃にフォーカスして商品をつくりたい」(小林氏)

現在、国内では通販サイトだけでなく、ハラール対応コーナーを展開している「サッポロドラッグストア」(北海道)や、「コクミン」などのドラッグストアのほか、「アリオ」各店にも展開している。海外では今後タイやインドネシアで展開するほか、中央アジア地域での販売も決まっている。

また、東京・恵比寿にあるハラール対応美容サロン「ソルビスカ」でも販売しており、サロンで在日のムスリム女性に対して正しいスキンケアや美容法についてレッスンを行っていく予定だ。

クレンジングや美容液、BBクリーム、ナイトクリームなど製品の拡充も随時行っていくとしている。

「ハラール認証を付与することで、全世界で展開できる。一般階級の女性でも使えるような価格設定で販売していきたい」(小林氏)